

# 日本人からみた米国の物価と日本の物価



(注) 1999年12月の日米の消費者物価指数を100として指数化。日本の物価は帰国家賃を除く総合

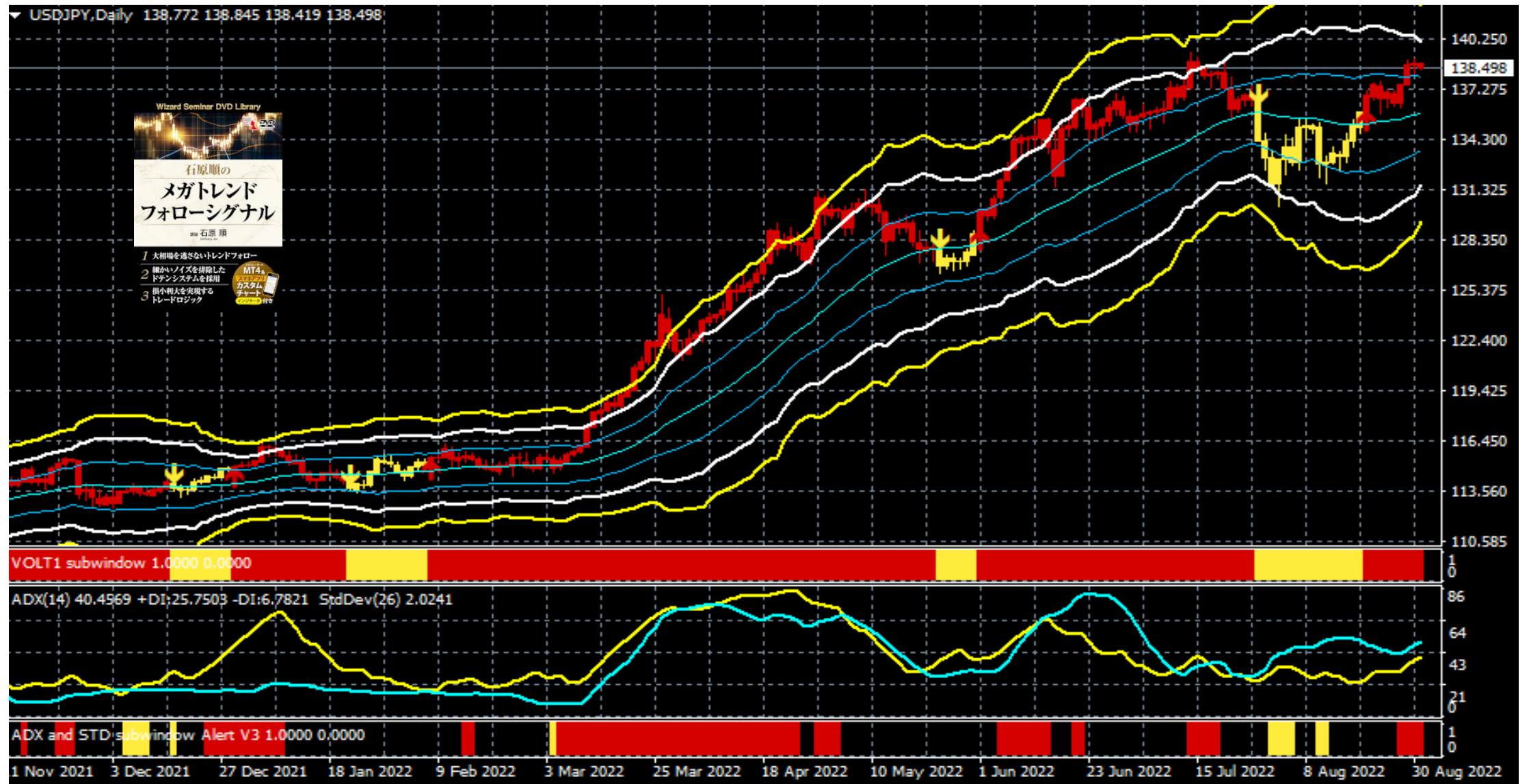
<https://marketessential.jp/>

出所：マーケットエッセンシャル（前田昌孝）

国内の物価が上がっているといっても、米国人が米国内で感じている状況とはほど遠いが、では日本のおカネで米国のモノやサービスを買おうとすると、とんでもないことになるのだ。1999年12月から2022年7月にかけて日本の消費者物価指数は6・2%しか上昇しなかったが、円建てでみた米国の消費者物価指数は127・4%高、つまり、2・27倍になった。

特にこの1～2年の上昇率はすさまじく、ほとんどハイパーインフレ状態だ。海外への観光旅行などは予算が許すまで回数を減らせばいいだろうが、子どもを海外の大学などに通わせている家庭は、たいへんなことになっているのではないだろうか。

# ドル/円 (日足)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

# ドル/円 (月足)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

# NY原油CFD (日足) (日足)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）

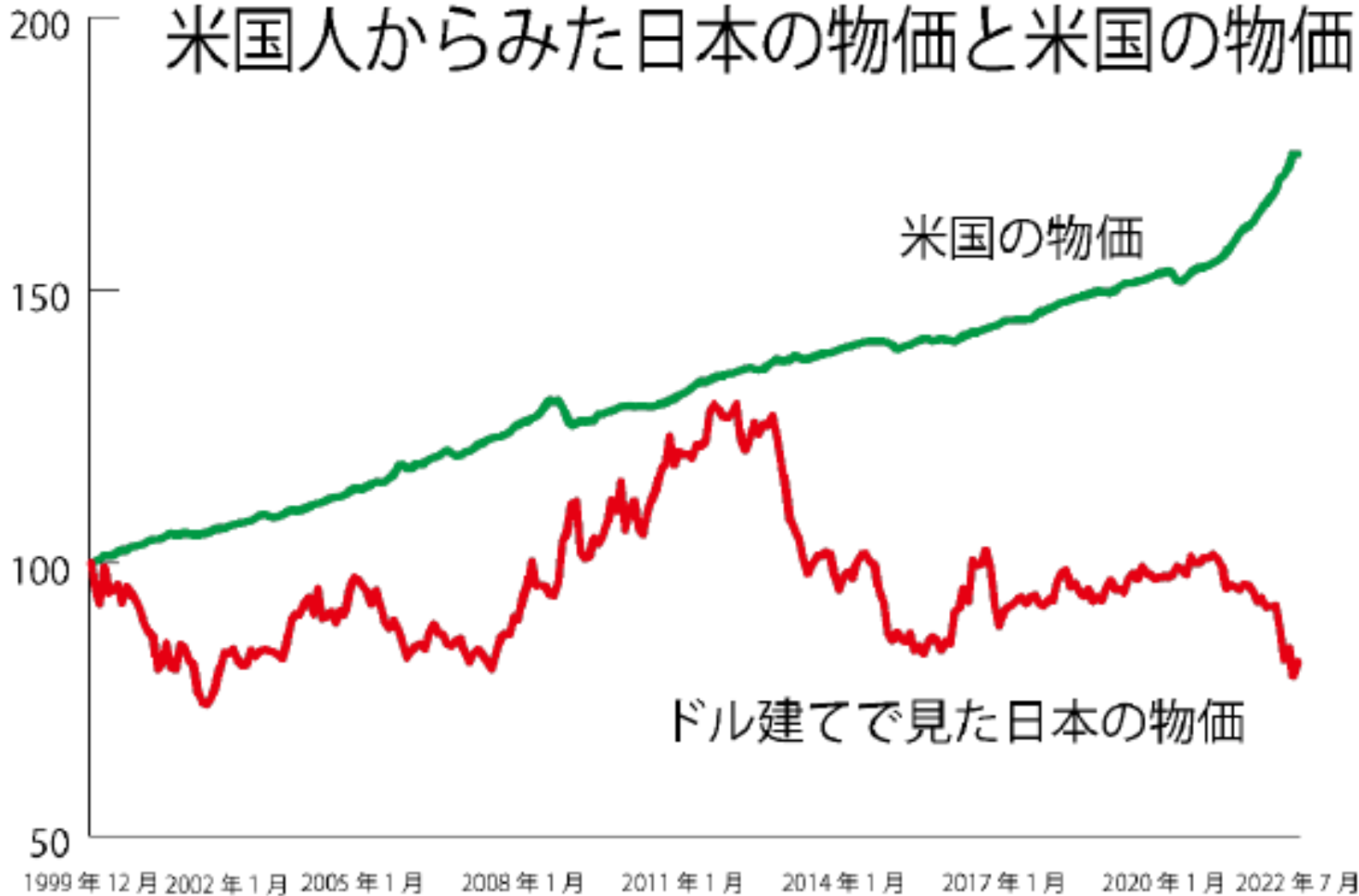
# ゴールドCFD (日足)



出所：楽天MT4・石原順インディケーター（赤↑＝買いシグナル・黄↓＝売りシグナル）



# 米国人から見た日本の物価と米国の物価



米国からみたら、日本の物価はウソのように低い。1999年12月を100とすると、米ドル建てにした日本の消費者物価指数（帰属家賃を除く総合）は2012年1月に129・0まで上昇したが、2022年7月には81・7。

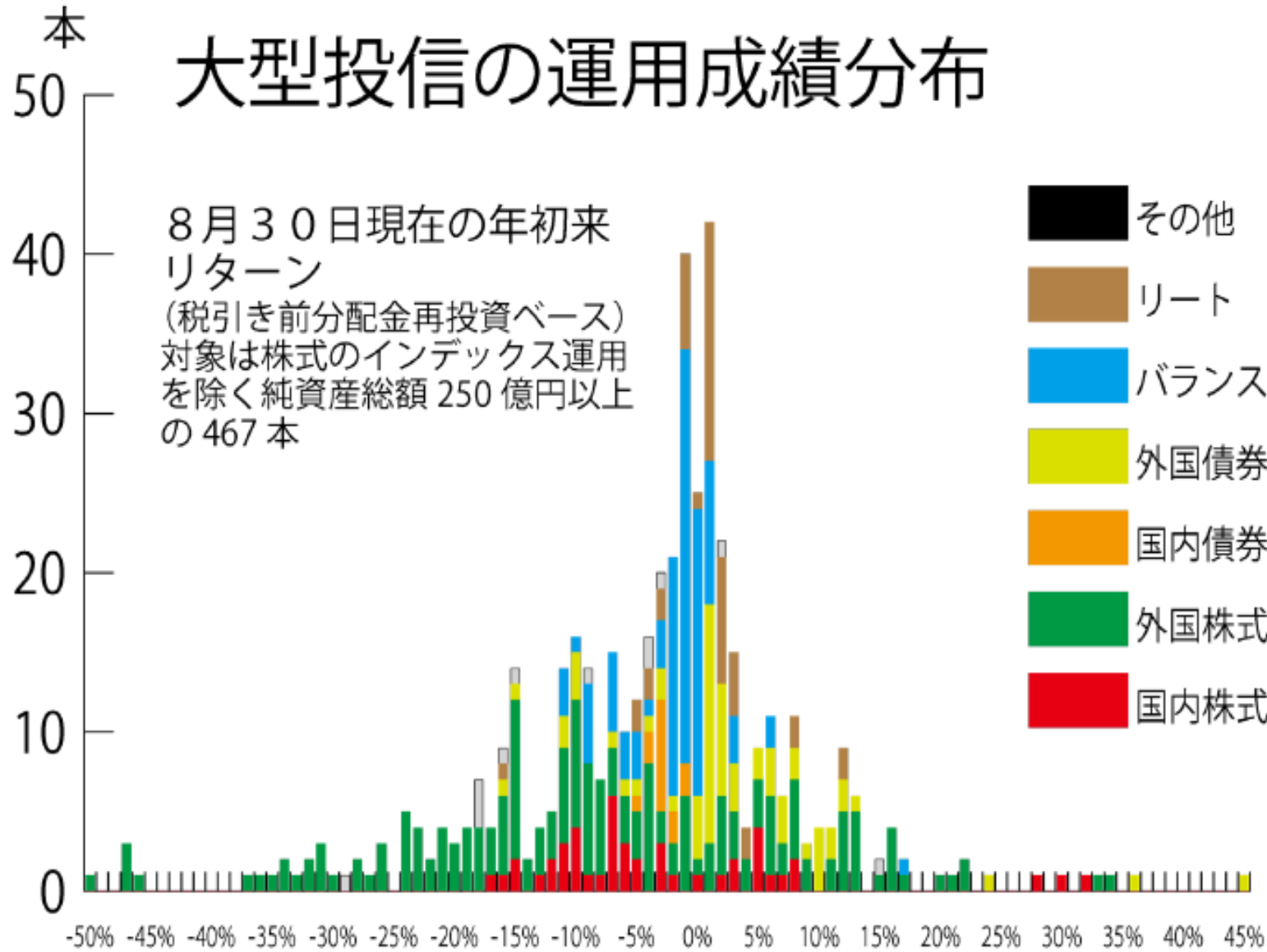
この間に自国（米国）の消費者物価指数は174・9まで上昇しているのだから、もし、給与も物価並みに増えていたとすれば、**米国人は日本のモノやサービスを2倍以上、買う力を持ったことになる。**

(注) 1999年12月の日米の消費者物価指数を100として指数化。日本の物価は帰属家賃を除く総合

<https://marketessential.jp/>

出所：マーケットエッセンシャル（前田昌孝）

# 大型投信の運用成績分布



「だから証券投資なのですよ」というのが、こうした場面に対する証券会社の答えなのかもしれないが、現実には単純ではない。

マスコミなどで報道されるのは、もっぱら株価が上昇した企業や、運用成績がよかった投資信託の話だが、筆者が日々、動向を点検している**純資産総額 250 億円以上の公募投信の年初来リターンは、8月30日現在、467本の平均でマイナス3・74%となっている。**

バランス型投信は、債券などもかなり組み入れているため、外国株型や日本株型ほど運用成績が悪いファンドはないが、それでも対象98本の年初来リターンの平均は**マイナス1・8%にとどまった。インフレヘッジどころではなかったのである。**

<https://marketessential.jp/>

出所：マーケットエッセンシャル（前田昌孝）

## 8月30日までの大型投信の タイプ別運用成績（年初来）

タイプ	本数	最高	平均	最低
外国株式	184	33.72	-8.39	-50.43
国内株式	46	32.07	-2.62	-16.61
外国債券	66	44.53	3.14	-15.62
国内債券	14	-0.83	-2.72	-4.95
バランス	98	16.75	-1.84	-11.39
リート	47	12.47	1.01	-16.34
その他	12	15.08	-9.80	-29.14
全体で	467	44.53	-3.74	-50.43

（注）対象は株式のインデックス運用を除く純資産総額 250 億円以上の 467 本（ETF、ラップ・SMA 専用も除く）。リターンは税引き前分配金再投資ベース  
（出所）QUICK 資産運用研究所のデータをもとに集計

タイプ別でよかったのは外国債券型とリート型だった。海外の金利が上昇したため、外債型が組み入れている外債の価格は総じて下落したが、為替ヘッジを付けなかった外債投信は、円安効果で円換算額が膨らんだ。ブラジルリアル債を組み入れる外債投信のなかには、レアルの値上がりが奏功して、45%のリターンを確保したものもあった。

**個々に良し悪しはあっても、投信全体ではインフレヘッジには役立たなかった。**

<https://marketessential.jp/>

出所：マーケットエッセンシャル（前田昌孝）

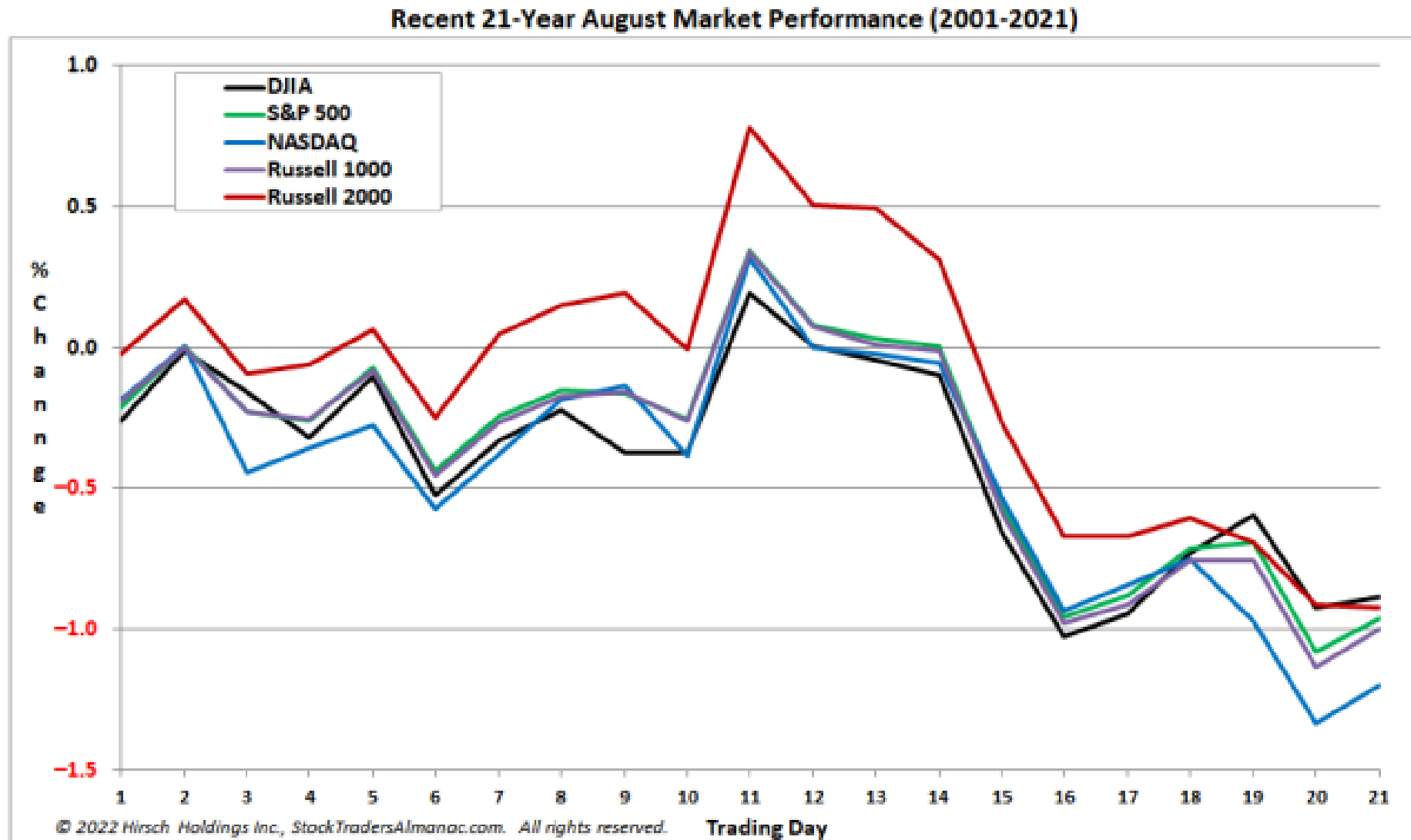


# S & P500のシーズナルサイクル（過去20年の平均）と9月相場



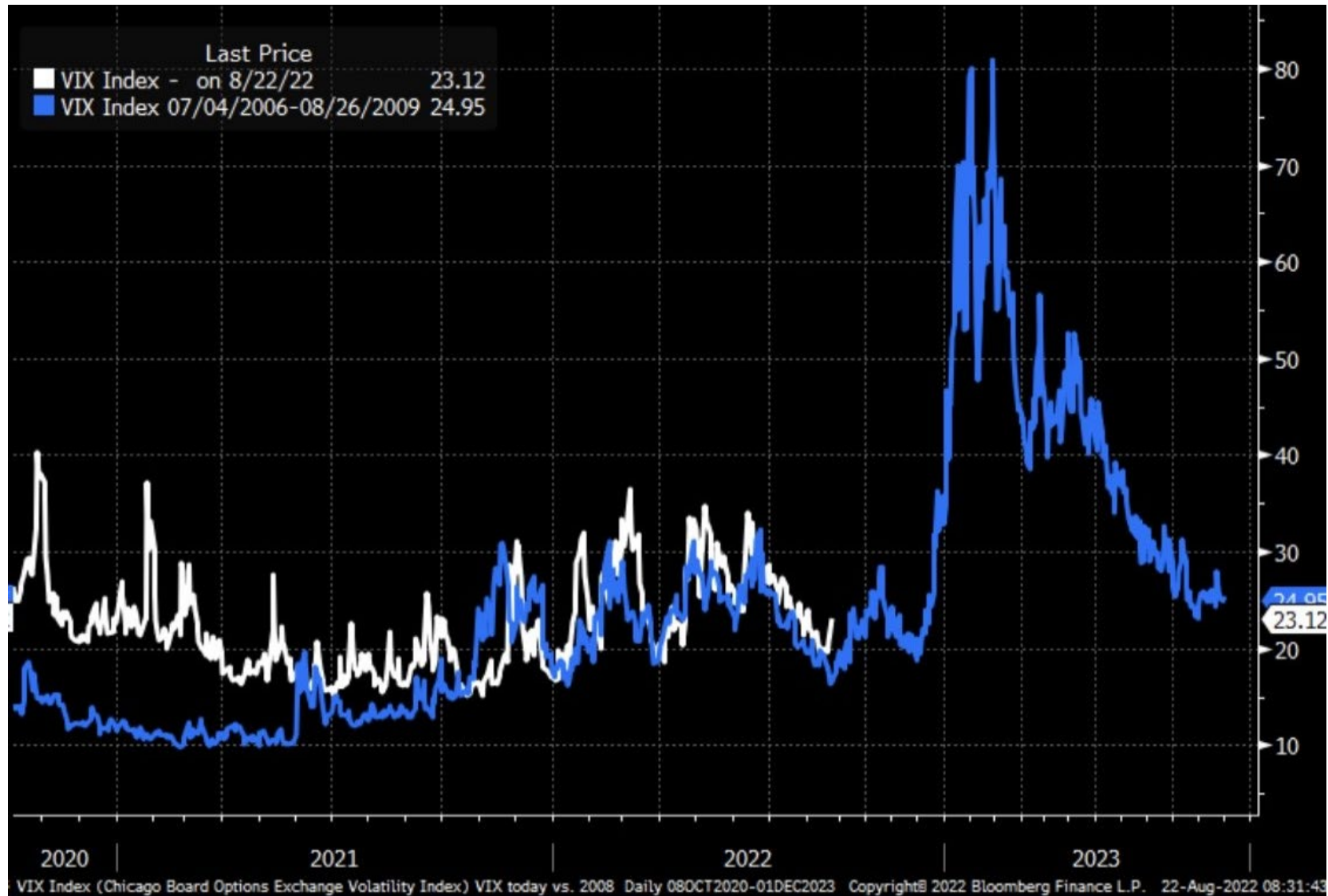
出所：トレーダーズアルマナック（パンローリング）

# 9月の月間の動き（過去21年の平均）



出所：トレーダーズアルманаック（パンローリング）

# 2022年と2008年相場のアナログチャート



出所：Michael J. Kramer

# FRBは低インフレの目標を導入した1990年代以来で最大の試練に直面

注目のジャクソンホール講演で、FRBのパウエル議長はインフレを根絶するため利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いことを示唆した。パウエルのジャクソンホール演説は、わずか1301語で、予定されていた30分をはるかに下回るわずか8分で終わった。

パウエルFRB議長は、「金利の上昇、成長の鈍化、労働市場の軟調さはインフレ率を低下させる一方で、家計や企業にもいくらかの痛みをもたらすだろう。これらはインフレを減らすための不幸なコストだ。しかし、物価の安定を回復できなければ、はるかに大きな痛みが生じるだろう」と述べ、当局が近く方針を転換するとの見方をけん制した。

# パウエルは市場を暴落させなければならない！？

クレディ・スイスのゾルタン・ポズサーは、隔週で発行している「グローバル・マネー・ディスパッチ」というレポートで、パウエルFRB議長が「市場に忖度せずにインフレファイトする」ことを警告していた。

最も尊敬されているウォール街のストラテジストの一人、レポ市場の第一人者であり、元NYFRB職員のゾルタン・ポズサーは、「パウエルは市場を暴落させなければならない」と顧客向けメモに書いて、市場関係者を驚かせた。

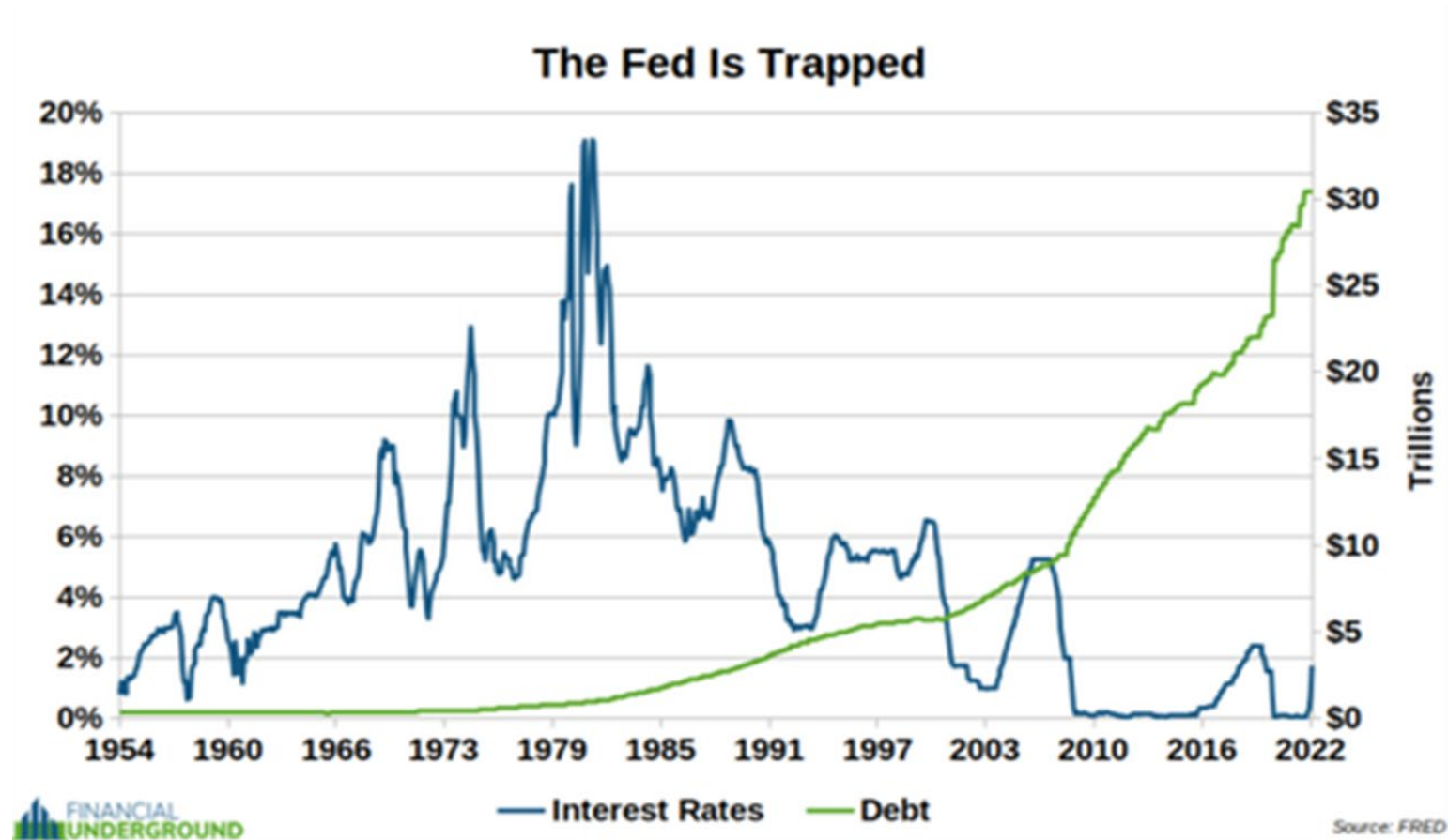
「インフレを克服するためにはL字型の景気後退が必要だ。インフレを抑制するためには、米国経済は投資家が現在予想しているよりも深く長い景気後退を経験する必要があるかもしれない」

「消費者物価の高騰は間もなくピークに達し、中央銀行はタカ派的姿勢を弱めると市場は見ているが、世界のコスト圧力が高まったままになるリスクは高い。世界は経済戦争に見舞われており、ここ数十年続いてきたロシアや中国がアメリカやヨーロッパの先進国に安価な商品やサービスを供給するというデフレの環境は変わりつつある」

「経済戦争とは、需要を最大化した消費主導の西側と西側のニーズに応えるために供給を最大化した東側の戦いと考えべきだ。そのパターンは東西関係が険悪になり、供給がなくなるまで続く。ロシアと中国の変化、移民規制による労働市場の逼迫、コロナウイルスの大流行による流動性の低下によって、供給の混乱が生じた。ジェローム・パウエル議長率いるFRBが、供給のタイトさに見合った総需要の大幅かつ持続的な減少を生み出すためには、金利を5%または6%まで引き上げ、それを維持しなければならない可能性が高い」



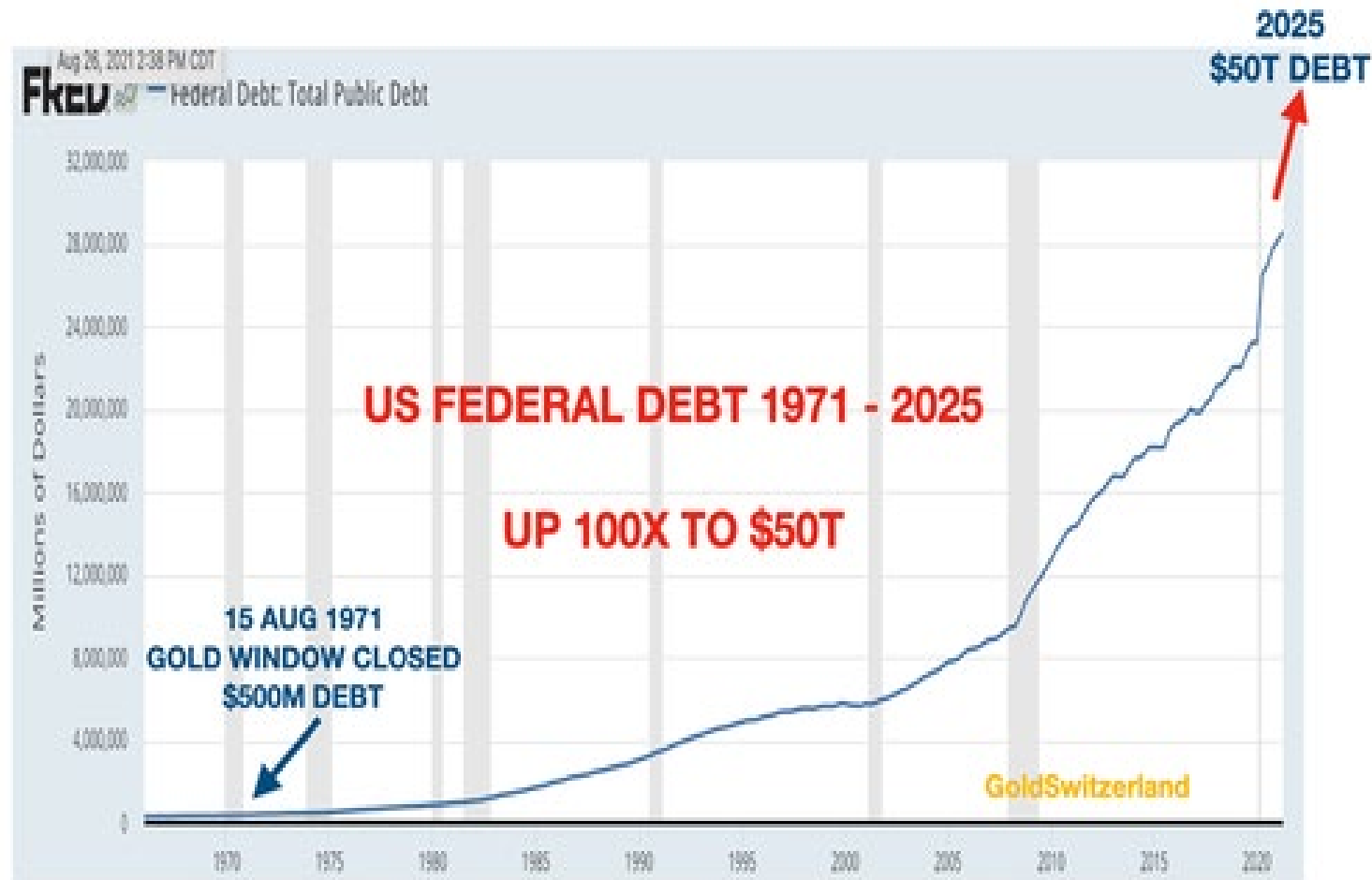
# 連邦債務とフェデラルファンドレートの推移（1954年～2022年）



（米国政府が最初に1兆ドルの負債を積み上げるのに1981年までかかった。その後、2兆ドルはわずか4年で積み上がった。その後、数兆ドルはどんどん短期間で増えていった。今日、米国の連邦債務は放物線を描き、30兆ドルをはるかに超えている）

出所：ゼロヘッジ

# 米国の連邦債務（1971年～2025年（予測））



（2025年には負債が1981年の50倍に膨れ上がると予測されている。その結果は明らかだ。FRBがコントロールを失うことで保証されている金利上昇時には、アメリカ帝国は金利を支払う余裕すらなく、債務不履行に陥るだろう）

出所：ゼロヘッジ

# 連銀のバランスシートの縮小予測

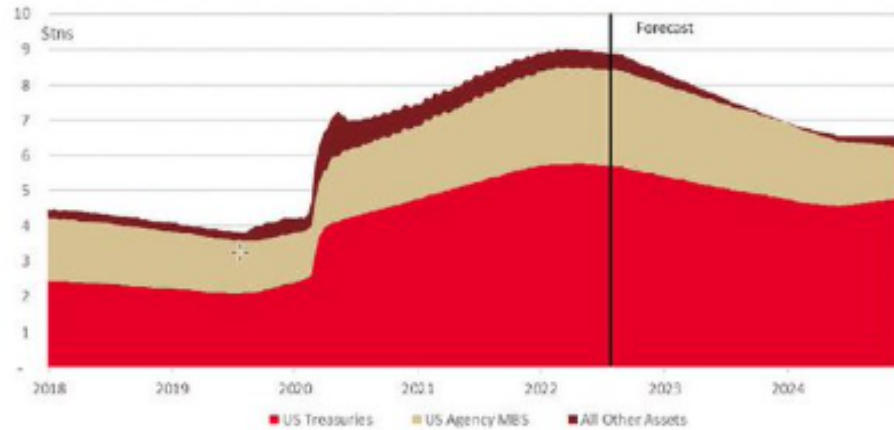


石原順 (西山孝四郎) @ishiharajun · 16時間

Fed Balance Sheet Shrinkage Kicks Into High Gear In September | ZeroHedge

FRBは6月にバランスシートの縮小を開始し、9月に証券ポートフォリオを削減するペースを倍増させる計画だ。

Chart 1: Federal Reserve balance sheet—asset side to show holdings of Treasury and MBS securities



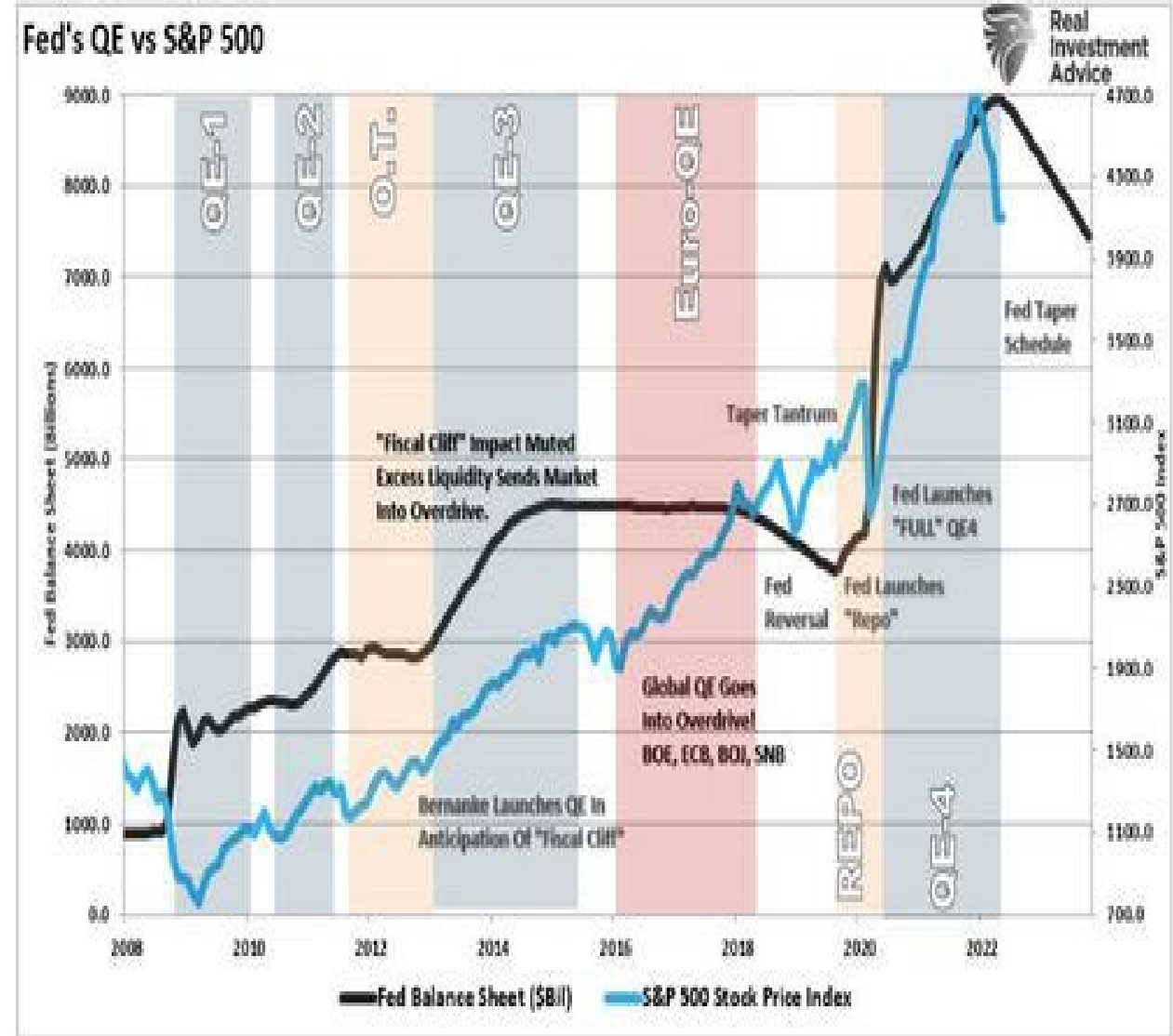
Source: SG Cross Asset Research/Economics

zerohedge.com

Fed Balance Sheet Shrinkage Kicks Into High Gear In September  
If demand for reserves going forward is higher than in 2019, the Fed may have to halt QT sooner than expected to maintain control of ...



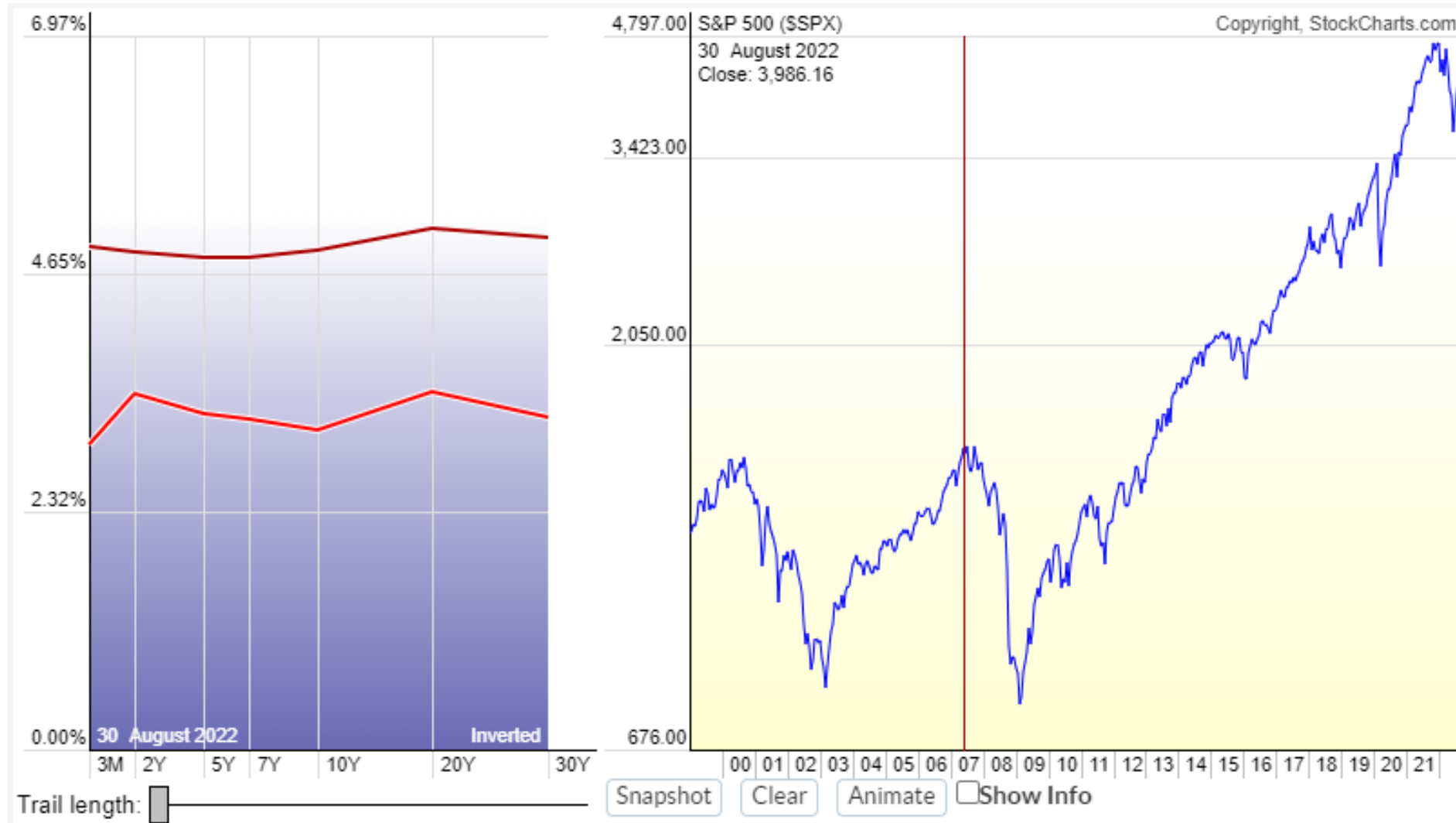
出所：Twitter



出所：リアルインベストメントアドバイス

# 米国のイールドカーブとS&P500の推移

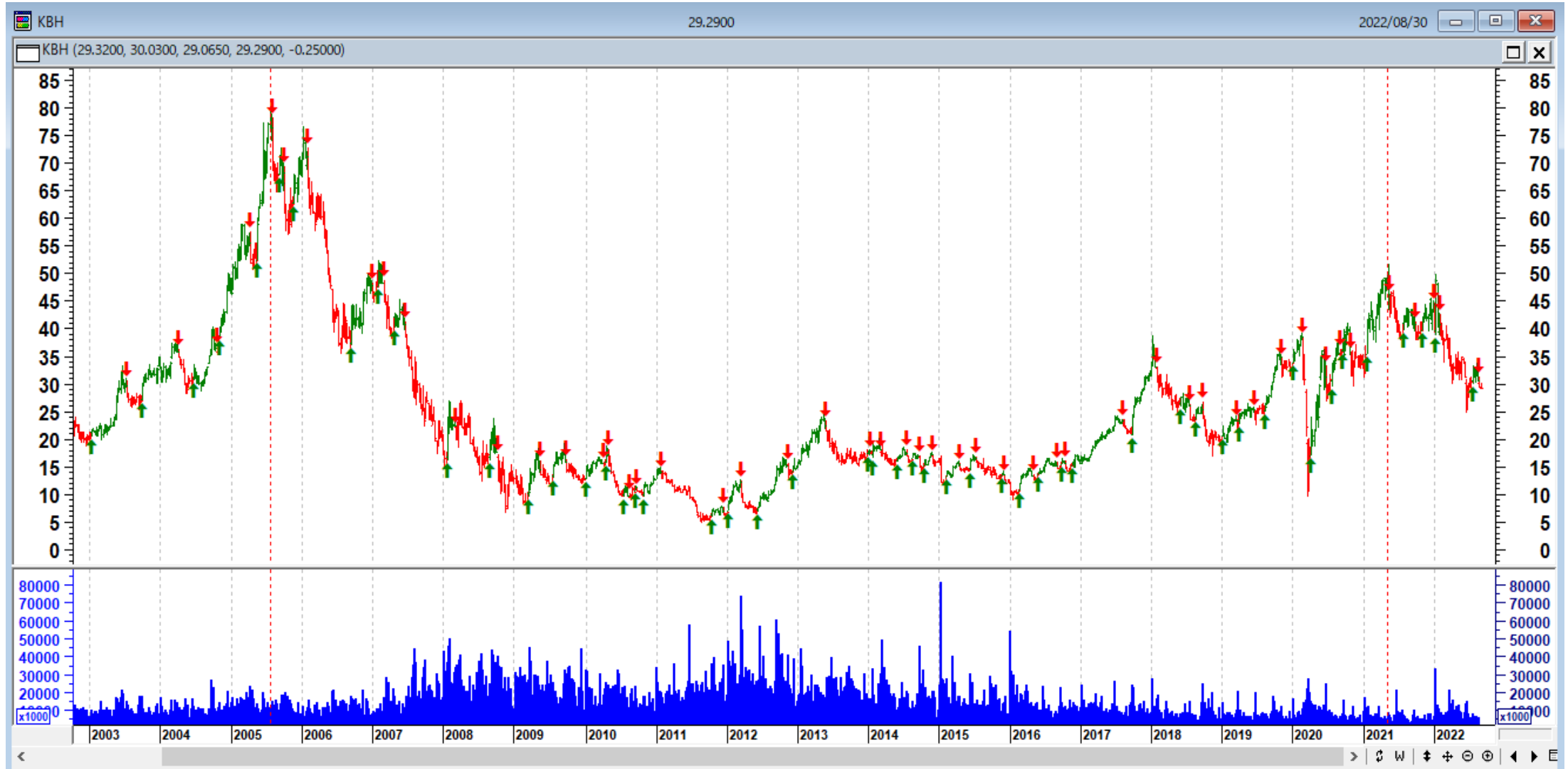
現在（赤）とリーマンショック（世界金融危機）の直前（茶）



出所：ストックチャーツ

# 米国の景気の先行指標は住宅である。

住宅株のKBホームは金融危機（リーマンショック）前の2005年に既に天井を付けていたのである。



出所：筆者作成



# 米国の利上げとバブルの崩壊 (FF VS GT10)



出所：セントルイス連銀

# 「ウォーレン・バフェットの保有銘柄44銘柄と集中投資5銘柄

2022年6月末時点のバークシャー・ハサウェイの13F (2022年8/15発表)			2022年3月末時点のバークシャー・ハサウェイの13F (2022年5/16発表)		
		時価評価額 (1,000ドル)			時価評価額 (1,000ドル)
1	ACTIVISION BLIZZARD INC	5,325,713	1	ACTIVISION BLIZZARD INC	5,152,292
2	ALLY FINL INC	1,005,300	2	ALLY FINL INC	389,990
3	AMAZON COM INC	1,132,836	3	AMAZON COM INC	1,738,531
4	AMERICAN EXPRESS CO	21,016,276	4	AMERICAN EXPRESS CO	28,351,201
5	APPLE INC	122,337,373	5	APPLE INC	155,564,138
6	BANK AMER CORP	31,444,432	6	BANK AMER CORP	41,636,348
7	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	3,018,027	7	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	3,591,100
8	CELANESE CORP DEL	1,076,922	8	CELANESE CORP DEL	1,125,958
9	CHARTER COMMUNICATIONS INC N	1,793,974	9	CHARTER COMMUNICATIONS INC N	2,088,764
10	CHEVRON CORP NEW	23,373,304	10	CHEVRON CORP NEW	25,918,973
11	CITIGROUP INC	2,536,616	11	CITIGROUP INC	2,945,319
12	COCA COLA CO	25,164,000	12	COCA COLA CO	24,799,999
13	DAVITA INC	2,886,202	13	DAVITA INC	4,082,770
14	FLOOR & DECOR HLDGS INC	300,949	14	FLOOR & DECOR HLDGS INC	387,180
15	GENERAL MTRS CO	1,679,385	15	GENERAL MTRS CO	2,713,886
16	GLOBE LIFE INC	619,297	16	GLOBE LIFE INC	639,185
17	HP INC	3,424,725	17	HP INC	3,792,480
18	JOHNSON & JOHNSON	58,064	18	JOHNSON & JOHNSON	57,972
19	KRAFT HEINZ CO	12,419,712	19	KRAFT HEINZ CO	12,826,755
20	KROGER CO	2,481,858	20	KROGER CO	3,326,615
21	LIBERTY MEDIA CORP DELAWARE	2,776,088	21	LIBERTY MEDIA CORP DELAWARE	3,438,943
22	MARKEL CORP	604,738	22	MARKEL CORP	620,034
23	MARSH & MCLENNAN COS INC	62,862	23	MARSH & MCLENNAN COS INC	69,005
24	MASTERCARD INC	1,257,708	24	MASTERCARD INC	1,424,748
25	MCKESSON CORP	1,043,331	25	MCKESSON CORP	894,504
26	MONDELEZ INTL INC	35,888	26	MONDELEZ INTL INC	36,287
27	MOODYS CORP	6,709,439	27	MOODYS CORP	8,323,829
28	OCCIDENTAL PETE CORP	9,335,408	28	OCCIDENTAL PETE CORP	7,737,804
29	PROCTER & GAMBLE CO	45,351	29	PROCTER & GAMBLE CO	48,193
30	RH	460,605	30	RH	707,615
31	SPDR S&P 500 ETF TR	14,864	31	SPDR S&P 500 ETF TR	17,795
32	SNOWFLAKE INC	851,795	32	SNOWFLAKE INC	1,403,507
33	STORE CAP CORP	180,693	33	STORE CAP CORP	431,283
34	T-MOBILE US INC	705,259	34	T-MOBILE US INC	672,811
35	US BANCORP DEL	5,513,432	35	US BANCORP DEL	6,719,111
36	UNITED PARCEL SERVICE INC	10,843	36	UNITED PARCEL SERVICE INC	12,739
37	VANGUARD INDEX FDS	14,916	37	VANGUARD INDEX FDS	17,852
38	VERISIGN INC	2,144,436	38	VERISIGN INC	2,850,961
39	PARAMOUNT GLOBAL	1,935,448	39	VERIZON COMMUNICATIONS INC	70,303
40	VISA INC	1,633,687	40	PARAMOUNT GLOBAL	2,606,915
41	AON PLC	1,185,514	41	VISA INC	1,840,128
42	NU HLDGS LTD	400,624	42	AON PLC	1,431,470
43	STONECO LTD	82,355	43	NU HLDGS LTD	826,957
44	LIBERTY LATIN AMERICA LTD	30,523	44	ROYALTY PHARMA PLC	58,299
			45	STONECO LTD	125,137
			46	LIBERTY LATIN AMERICA LTD	37,832

今回、新規ポジションの追加はなく、ベライゾン・コミュニケーションズ (VZ) とロイヤリティ・ファーマ (RPRX) の株式を手放したことが特徴だ。その他、ゼネラルモーターズ (GM)、U.S.バンクオブ(USB)、さらにはクローガー・カンパニー (KR) の持ち高を減らした。

一方、アップル (AAPL) への投資については、新たに390万株を追加購入し、6月末時点で1220億ドル相当の株式を保有していることがわかった。アップルはバークシャーの株式ポートフォリオの約40%を占めている。

また、この期間にオクシデンタル・ペトロリウム (OXY) を2200万株、シェブロン (CVX) を230万株購入し、エネルギー株への投資を加速させている。さらに、自動車・住宅金融サービスなどを手掛けるアライ・ファイナンシャル (ALLY) の保有株式を3倍に増やした。

# バークシャーの2022年6月末時点の保有株式（評価額順）

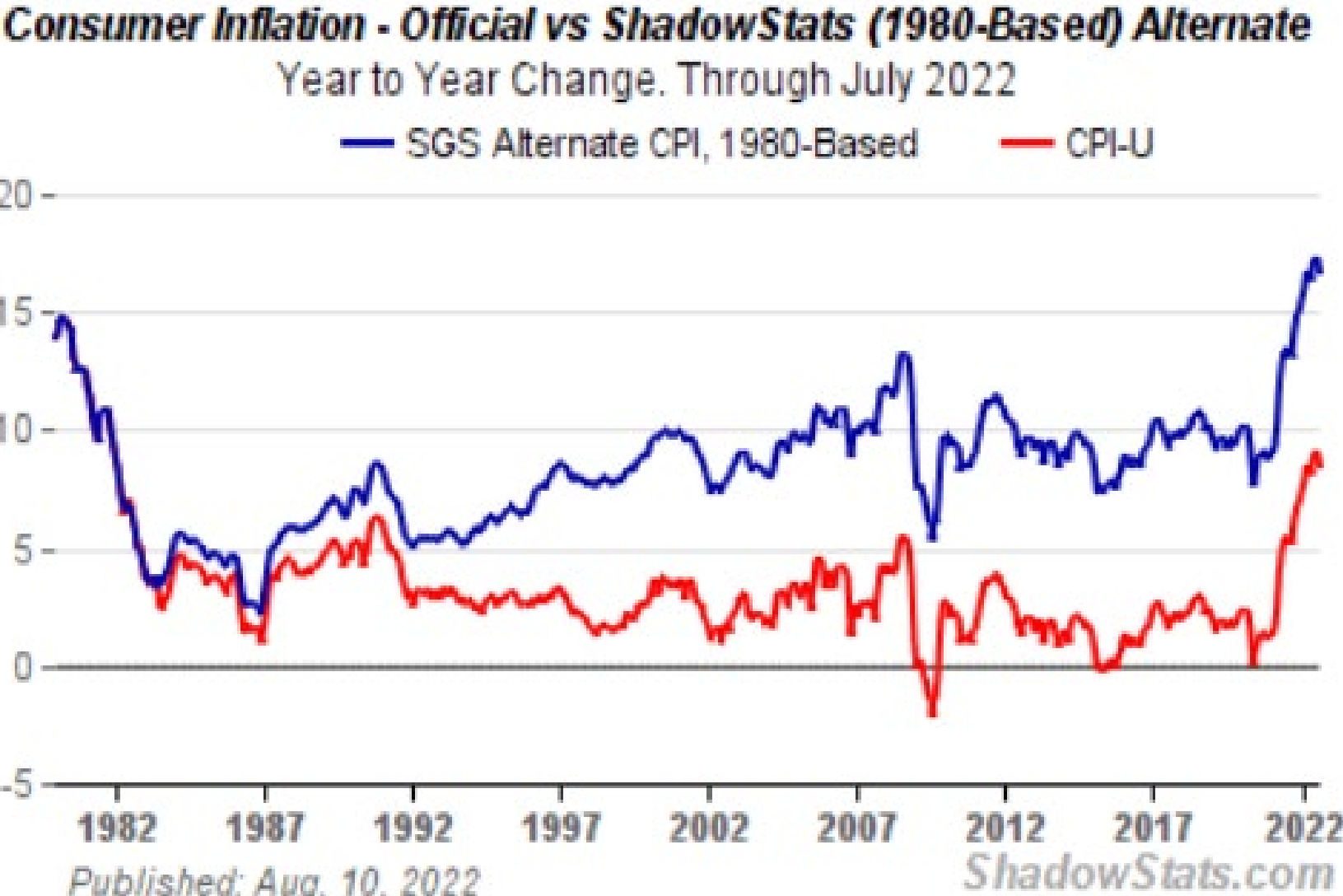
	企業	ティッカー	時価評価額 (1000ドル)	保有割合
1	APPLE INC	AAPL	122,337,373	40.76%
2	BANK AMER CORP	BAC	31,444,432	10.48%
3	COCA COLA CO	KO	25,164,000	8.38%
4	CHEVRON CORP NEW	CVX	23,373,304	7.79%
5	AMERICAN EXPRESS CO	AXP	21,016,276	7.00%
6	KRAFT HEINZ CO	KHC	12,419,712	4.14%
7	OCCIDENTAL PETE CORP	OXY	9,335,408	3.11%
8	MOODYS CORP	MCO	6,709,439	2.24%
9	US BANCORP DEL	USB	5,513,432	1.84%
10	ACTIVISION BLIZZARD INC	ATVI	5,325,713	1.77%
11	HP INC	HPQ	3,424,725	1.14%
12	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	BK	3,018,027	1.01%
13	DAVITA INC	DVA	2,886,202	0.96%
14	LIBERTY MEDIA CORP DELAWARE	LMCK	2,776,088	0.92%
15	CITIGROUP INC	CITI	2,536,616	0.85%
16	KROGER CO	KR	2,481,858	0.83%
17	VERISIGN INC	VRSN	2,144,436	0.71%
18	PARAMOUNT GLOBAL	PARA	1,935,448	0.64%
19	CHARTER COMMUNICATIONS INC N	CHTR	1,793,974	0.60%
20	GENERAL MTRS CO	GM	1,679,385	0.56%
21	VISA INC	V	1,633,687	0.54%
22	MASTERCARD INC	MA	1,257,708	0.42%
23	AON PLC	AON	1,185,514	0.39%
24	AMAZON COM INC	AMZN	1,132,836	0.38%
25	CELANESE CORP DEL	CE	1,076,922	0.36%
26	MCKESSON CORP	MCK	1,043,331	0.35%
27	ALLY FINL INC	ALLY	1,005,300	0.33%
28	SNOWFLAKE INC	SNOW	851,795	0.28%
29	T-MOBILE US INC	TMUS	705,259	0.23%
30	GLOBE LIFE INC	GL	619,297	0.21%

バークシャーの6月末時点の保有株のトップ5は、アップル、バンクオブアメリカ（BAC）、コカコーラ（KO）シェブロン、アメリカンエキスプレス（AXP）で、この5銘柄でバークシャーのポートフォリオの約7割を占めている。

40兆円もあるバークシャーの株式のポートフォリオは保有銘柄数が少ない。バフェット氏の運用はもともと数少ない銘柄に賭ける集中投資型だ。

バークシャーは2022年の1～6月期に689億ドルの評価益を失ったが、アップルをはじめとする6月末以降の保有銘柄の回復でその75%程度を取り戻した格好となっている。

# 米国の表のCPIと裏のCPI



出所：SHADOWSTATS

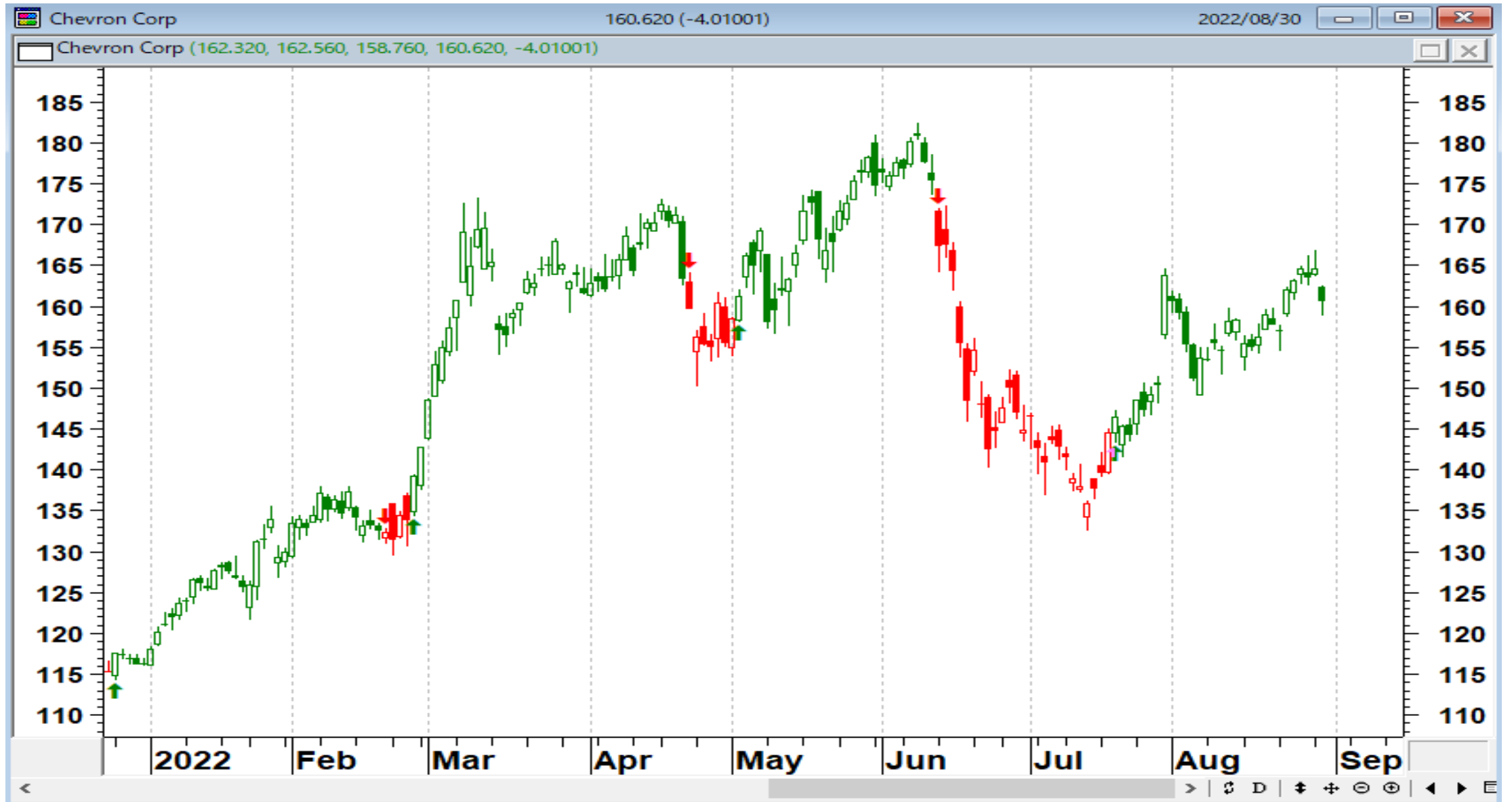
# アップル（日足）



出所：筆者作成



# シェブロン (日足)



出所：筆者作成

# オクシデンタル・ペトロリアム（日足）



米著名投資家ウォーレン・バフェット氏率いる投資会社バークシャー・ハサウェイ（BRK.B）が、米石油大手オクシデンタル・ペトロリアム（OXY）の株式を最大5割取得しようとしていることが明らかになった。FERC（米連邦エネルギー規制委員会）が19日、バークシャーによって提出されたオクシデンタル株買い増し申請を承認したと公表した。バークシャーは先月11日に書類を提出していたという。

オクシデンタルの2021年度の業績は前期から大幅に改善している。2月24日に開催された取締役会においては、30億ドルの自社株買いプログラムも発表された。原油価格の上昇に伴い、今期はさらに業績が拡大することが見込まれる。

# コカコーラ (日足)



出所：筆者作成

# ベッド・バス・アンド・ビヨンド (日足)

